

キャンピングカーがあれば、人生はもっともっと豊かになる！

一般社団法人 日本RV協会発行 JRVIA

くるま旅

Kuruma Tabi®

FREE MAGAZINE 2019 vol.

15



巻頭特集

可能性は無限大！

キャンピングカーで 何して遊びますか!?



第2特集

マナーを守って、楽しい「くるま旅」を！

可能性は無限大!

キャンピングカーで 何して遊びますか!?



大きな愛犬2頭と一緒に 充実の「くるま旅」を満喫!



OWNER

01

ファミリー+愛犬×キャブコン

竹ノ内 伸行さん／康代さん／蒼空さん(9歳)

ファミリーでキャンピングカーライフを楽しむ竹ノ内さん。ほかのオーナーとちょっと違うのは、超大型犬と大型犬を連れて旅をしていること。セントバーナードの「むっちゃん」は体重76kg、秋田犬の「虎哲(こてつ)」は体重34kg! キャンピングカーで愛犬と旅をしているユーザーはかなりのものの、これだけスケールの大きなワンコ連れキャンピングカーオーナーにはそうそうお目にかかれない。

「もともと動物が大好きなんです。秋田犬1頭の時はワンコを預けて旅行に行ったりしていましたが、セントバーナードを飼いだした時にさすがに厳しくなりました。それで、キャンピングカーの購入を決意しました」。愛車のキャブコンはリア2段ベッド仕様だ

が、下段マットを取り外して通路と連続するスペースを作り出し、大きなワンコ2頭でも快適に過ごせる空間にしている。外食時などでも愛犬を安心して留守番させられるように、エアコン、トリプルサブバッテリー、発電機と、装備も万全だ。

セントバーナード&秋田犬と一緒にキャンピングカーライフを送っているだけでも驚きだが、家にはネコやヨウム(大型インコ)もいるそうで、長期の旅だとワンコ2頭、ネコ1匹、ヨウム1羽をすべて愛車に乗せて出かけることもあるとか。そうなると、つつい出かけるのが億劫になるのではと思われがちだが、竹ノ内さんは1年を通して家族やペットと一緒に愛車のキャブコンで各地を飛び回っている。キャンピングカ

ーのおかげで、ペット連れの旅でも快適に生活できるとご満悦だ。

「冬はほとんどスキーですね。オンシーズン中はほぼ毎週出かけるので、年間40日くらいはスキー三昧です」。さらに、ゴールデンウィークや夏休みなどの大型連休には、10日間ほどかけてキャンピングカーで長距離の旅を楽しむ。東京の八王子にある自宅を起点に、一昨年は岐阜～大阪～四国、今年は石川～福井～滋賀～岐阜の長期くるま旅を家族で楽しんだとか。

「もっと長期の旅をしてみたいし、全国のお祭りにも行ってみたい。まだまだキャンピングカーでやりたいことはいっぱいです」。竹ノ内ファミリーのキャンピングカーライフは、まだ始まったばかりだ。

合計110kgの
愛犬と楽しむ
くるま旅！



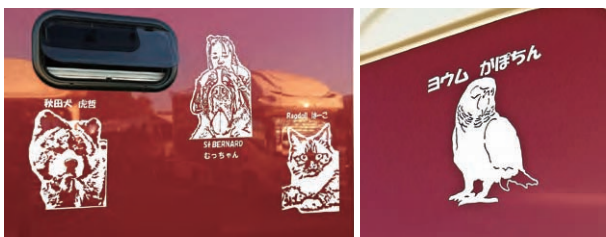
ちょっとした
アイデアで
快適な
ワンコ仕様に！



ワンコ2頭がゆったり過ごせるように、リア2段ベッドの下段マットを取り外して通路とつながった広々スペースを確保。家庭用エアコン完備で安心して車内に留守番させられるのもポイントだ。



セントバーナードのむっちゃんは体重76kg、秋田犬の虎哲は体重34kg。2頭合わせて体重110kg！ 超大型犬+大型犬を連れて快適に旅ができるのはキャンピングカーがあってこそ。

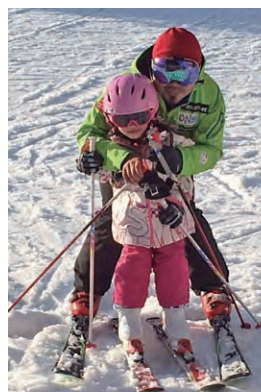


リアエンドに自作カッティングシートで描かれたペットたち。
ワンコ以外にネコやヨウムの絵柄も！

親子の
思い出づくり
にも
フル稼働



GWや夏休みは家族で長期のくるま旅へ。一昨年は岐阜～大阪経由で四国に渡り、阿波踊りを楽しんだ。



冬シーズンの週末はほぼ毎週雪山へ。年間40日くらいはゲレンデに足を運んでスキーを満喫している。

可能性は無限大!

キャンピングカーで何して遊びますか!?

家族や仲間と共に楽しむ至福のバンコンライフ!



Owner's
Campingcar
Style

OWNER

02

ファミリー×バンコン

小林 力さん / 亜弥さん / 明日真くん(9歳)

家族でバンコンライフを満喫している小林さんの愛車は、ハイエース・スーパーロングベースのバンコン。スノーボードの足として、E24キャラバン、200系ハイエース・ワイドミドル、200系ハイエース・スーパーロングを乗り継ぎ、44歳にしてキャンピングカー歴は16年になる。

雪山のベース基地として、これまで乗り継いだバンコンはすべて4WD車。どのクルマも好みの外装にドレスアップを施し、スタイリッシュなバンコンライフを送ってきた。「夫婦そろって、きっちり計画を立てて旅をするタイプではないんです」という小林さん夫妻にとって、キャンピングカーの機動力は強い味方。夏休みには北海道や四

国などに遠征して10日間ほどくるま旅をするのが小林家のスタイルだが、その時も基本は無計画。現地でも相談しながら、「行きたい場所」「食べたいもの」を求めて自由気ままな旅を楽しんでいる。

140名以上が参加するフェイスブック・グループの管理人でもあり、毎年キャンプ場で大規模なミーティングも開催。同じ楽しみを持つバンコンユーザー同士が交流を深める貴重な場を提供している。家族との遊びはもちろん、仲間とのキャンプやミーティングなど、幅広い楽しみ方でアクティブに活動する小林さん。その至福のバンコンライフは、これからもずっと続いていくことだろう。



バン好きのオーナー達が集まる



バンコンユーザークラブの主宰者として大規模ミーティングも開催。



ハロウィンキャンプのサイトデコレーションコンテストで、3年連続優勝の経験もあるとか。



冬シーズンはほぼ毎週雪山へ。FFヒーター搭載のキャンピングカーはベース基地に最適。



夏休みには北海道や四国で長期くるま旅を楽しむ。写真は、北海道の積丹半島での一コマ。

各地のグルメと温泉を堪能！ バスコンで日本中を駆け回り



OWNER

03

夫婦+愛犬×バスコン
大場良一さん／美津子さん

バスコン購入から7年目で、走行距離は10万kmオーバー。東京在住の大場さんは、夫婦&トイプードルの梵天丸くんで、1年中くるま旅を楽しんでいるヘビーユーザーだ。これまでの旅で沖縄以外すべての都道府県を訪問したという大場さんが、一番好きな場所は北海道。北海道好きが高じて、2017年、2018年には2月の厳冬期にも北海道を訪問し、マイナス20℃の極寒の中で北海道1周の旅を楽しんできた。「北海道が大好きだからこそ、夏だけではなく冬も体験してみたくて。冬の北海道は、まさに別世界。最北の市・稚内では町中がすべてスケートリンク状態でしたよ」。

2017年夏には、北海道を旅した後に、東

北～中部～関西～中国～四国を經由して九州に渡る、「日本1周」の旅を敢行。3週間で、7500kmの距離を走破した。「その土地の美味しいものを食べて、温泉に浸かる。それが旅の楽しみです。旅に出ると体重が増えるので、帰宅後はダイエットが必須ですけどね(笑)」。アクティブに旅をする大場さんだが、バスコンの居住性と走行性能のおかげで不便を感じることは皆無。愛犬連れの夏場は、サブバッテリー稼働の家庭用エアコンが大活躍しているという。「まだまだ訪れていない場所はあるし、各地のお祭りや花火大会にも行ってみたい。お気に入りの愛車と一緒に、これからも楽しい旅を続けていきたいですね」。

可能性は無限大！

キャンピングカーで何して遊びますか!?



稚内港北防波堤ドーム

厳冬期に北海道1周くるま旅

2017年と2018年の2月に真冬の北海道でくるま旅。冬ならではの絶景と貴重な体験を味わった。



知床流水ウォーク



天に続く道



宗谷岬



大場さんご夫妻は、これまでに沖縄以外の全都道府県を訪問したという「くるま旅」の達人。手にしているのは「日本本土四極踏破証明書」。



©イラスト/寺崎 愛

公共駐車場でのマナーをあらためて確認してみよう！

1人1人のマナーに対する心がけが、「くるま旅」の未来を創る！

キャンピングカーのメリットは、車内で快適に就寝や生活ができることだ。その機動力を生かせば、時間を気にせず自由気ままに旅を楽しむことが可能。それこそが、キャンピングカーの最大の魅力であり、醍醐味と言っていだろう。

そうしたキャンピングカーの「自由さ」「楽しさ」を享受するには、マナーの厳守が不可欠だ。しかし、残念ながら、くるま旅ユーザーの増加と共に、各地でキャンピングカーのマナーが問題視されている。例えば、公共駐車場での長期滞在やキャンプ行為。まるでキャンプ場のように、公共駐車場でサイドオーニングやテーブル・イスを広げてくつろいだり、中には屋外で調理したり、洗濯物を干したりする人も……。

公共駐車場は宿泊を前提としたキャンプ場とは違い、あくまでも施設の利用者が休憩、食事、買い物、トイレなどの目的でクルマを止めるための場所。一部のユーザーのマナー違反行為で、一般利用者に迷惑をかけたり、嫌な思いをさせるようなことがあると、どんどん規制が厳しくなり、将来的にくるま旅本来の自由気ままな旅ができなくなる可能性もある。

そうならないために、キャンピングカーユーザーは何をすればいいのか。まず、公共駐車場の本来の目的をあらためて認識し、「公共駐車場はキャンプ場ではなく、利用はあくまでも休憩・仮眠の範ちゅうにとどめる」ということを、常に頭に置いて行動することが重要だ。具体的なマナーは、日本RV協会が提唱する「公共駐車場でのマナー10ヵ条」を確認し、それを厳守する。

「ちょっとだけならいいだろう」という軽い気持ちで、1人1人がマナーの大切さをしっかり認識して行動すれば、それが「自由で楽しいくるま旅」の将来を守ることにつながるはずだ。

キャンピングカーのくるま旅において、日本RV協会では、ゴミ処理、トイレ処理、給排水、AC電源設備を備え、屋外で調理可能なオートキャンプ場の利用を勧めている。そのほかにも、日本RV協会が認定するトイレや入浴環境などが整い車中泊が公認された有料施設「RVパーク」や一部条件を満たさない「RVパークライト」もある。

こうした施設を積極的に組み合わせながら、公共駐車場ではマナーわきまえて行動する。ユーザー1人1人の心がけで、キャンピングカーのくるま旅は、もっとスマートで、もっと楽しいものになる。

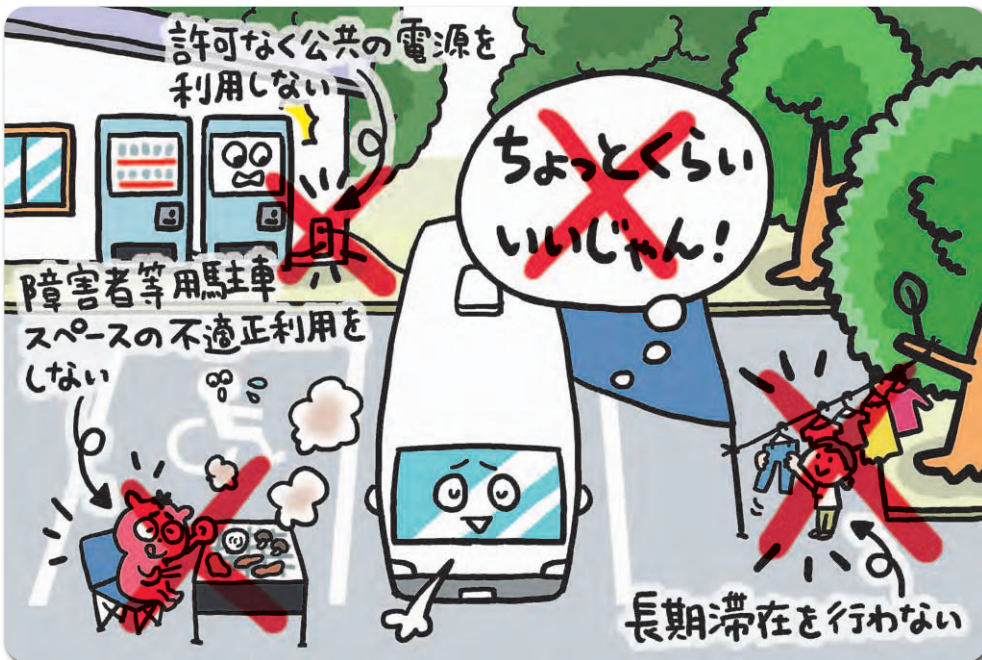
公共駐車場でのマナー厳守10ヵ条



- 長期滞在を行わない
- キャンプ行為は行わない
- 許可なく公共の電源を使用しない
- ゴミの不当投棄はしない
- トイレ処理は控える
- グレータンクの排水は行わない
- 発電機の使用には注意を払う
- オフ会の待ち合わせは慎重に
- 車椅子マークの所に駐車しない
- 無駄なアイドリングをしない

目立つクルマ
だからこそ
マナーを厳守して
スマートに！

同じ楽しみを持つ仲間との交流もキャンピングカーの楽しみの一つだが、クラブや仲間が集まる時は、駐車スペースを占拠したり騒いだりして一般利用客に迷惑をかけないように、細心の注意を払いたい。また、無駄なアイドリングはしないことを心がけ、発電機の使用時は騒音で迷惑をかけないように周囲に配慮しよう。

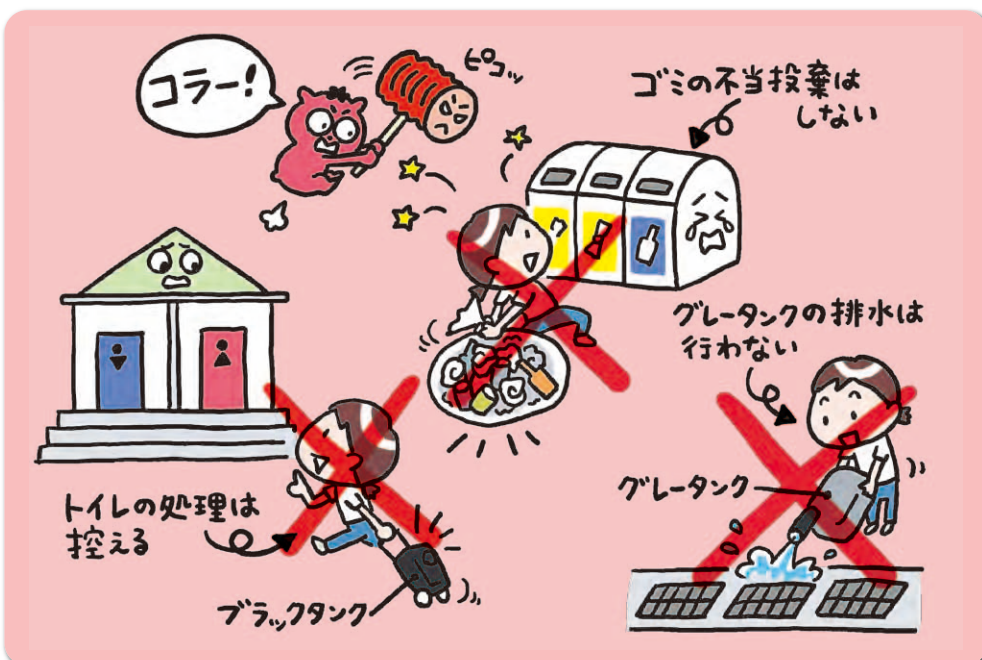


公共駐車場は
キャンプ場では
ありません！

公共駐車場での長期滞在や、サイドオーニングやテーブル&イスを出してのキャンプ行為は、明らかなマナー違反だ。障害者スペースの不適正利用や公共電源の不正利用も、絶対にNG！「ちょっとだけだから」「空いているから」など、自分勝手な考えでルール違反を犯さないように、自分の行動に責任を持つこと。

ゴミや排水は
持ち帰るか、
キャンプ場&
RVパークで処理！

公共駐車場で、ゴミの不当投棄や排水を行わないこと。くるま旅で溜まったゴミや排水は、自宅に持ち帰って処理するのが基本。長期の旅でそれができない場合は、オートキャンプ場やRVパークを利用して適切に処理しよう。すべての人が気持ちよく過ごせるように、「ちょっとくらい大丈夫」という軽い気持ちは捨てること。



安心・快適に車中泊ができる！

RVパークに行ってみよう

全国に広がるRVパークで快適な車中泊を楽しもう！

「安心・快適なくま旅を実現するには、キャンピングカーオーナーが安心して車中泊できる公認エリアが必要」。そうした考えのもと、日本RV協会が推進しているのが「RVパーク」だ。

簡単に言うと、RVパークとは「日本RV協会公認の有料車中泊施設」。安心して車中泊ができる駐車スペースを有料で開放してい

るほか、24時間使用可能なトイレや、100V電源供給設備、ごみ処理を引き受けるシステムなども利用できる。また、ほとんどのRVパークで入浴施設の利用も可能となっているなど、充実の設備でキャンピングカーの安心・快適なくま旅をサポートする体制が整っている。

現在、日本全国にあるRVパークの数は

120ヶ所以上（RVパークライト含む／2018年12月時点）。くま旅の拠点として便利に活用できるのはもちろん、地方や施設ごとに特色があるので、タイプの異なるRVパークを利用してそれぞれの魅力を味わってみるのも楽しいだろう。キャンピングカーでくま旅を楽しむ際は、ぜひ安心・快適に車中泊ができる「RVパーク」を利用してみよう！

九州・沖縄エリア

- ① セイワク留米東町(久留米市)
- ② FUKUOKA HAKATABASE(福岡市)
- ③ 湯乃禅の里(宮若市)
- ④ サンライズビーチながい(行橋市)
- ⑤ 道の駅おおき(大木町)
- ⑥ 有田温泉(有田町)
- ⑦ 龍神温泉(大村市)
- ⑧ 島原城(島原市)
- ⑨ くじゃく荘(川棚町)
- ⑩ そのぎの荘(東彼杵町)
- ⑪ 御立岬公園(芦北町)
- ⑫ 阿蘇マロンの樹(西原村)
- ⑬ 道の駅あそ望の郷きぎの(南阿蘇村)
- ⑭ 阿蘇内牧(阿蘇市)
- ⑮ B&B阿蘇(阿蘇市)
- ⑯ はな阿蘇美(阿蘇市)
- ⑰ 風来望(天草市)
- ⑱ 道の駅子守唄の里五木(五木村)
- ⑲ 道の駅錦(錦町)
- ⑳ 道の駅さくすい(和水町)
- ㉑ やまが(山鹿市)
- ㉒ 高鍋温泉めいりんの湯(高鍋町)
- ㉓ 祝子川温泉美人の湯(延岡市)
- ㉔ かどがわ(門川町)
- ㉕ たかざき(都城市)
- ㉖ いさ曾木の滝(伊佐市)
- ㉗ コスモピア内之浦(肝付町)
- ㉘ やぶさめの里総合公園(肝付町)
- ㉙ 東市来こけけ(日置市)
- ㉚ 今帰仁キャンプ場(今帰仁村)

近畿エリア

- ① 京都中央(京都市)
- ② 京都南 鴨川RVサイト(京都市)
- ③ 香美の隠れ家ときめき矢田川ヴィレッジ(香美町)
- ④ ロマントピア月ヶ瀬(奈良市)

中国エリア

- ① 美都温泉(益田市)
- ② とのやま山荘(倉敷市)
- ③ 農マル園芸吉備路農園(総社市)
- ④ 西山高原(高梁市)
- ⑤ ゆばら湯つ足り広場(真庭市)
- ⑥ 真道山森林公園キャンプ場(江田島市)
- ⑦ 瀬戸田サンセットビーチ(尾道市)
- ⑧ くらはしカープビーチ(呉市)
- ⑨ 吉和魅惑の里(廿日市市)
- ⑩ 西条駅前にぎわい広場(東広島市)
- ⑪ 豊平どんぐり村(北広島町)
- ⑫ 道の駅阿武町(阿武町)
- ⑬ たまがわ(萩市)

北陸・甲信越エリア

- ① マリンドリーム能生(糸魚川市)
- ② 立山ライチョウ谷(富山市)
- ③ ねやフィッシングパーク太望(七尾市)
- ④ オートキャンプ場米三郎(七尾市)
- ⑤ 道の駅ころ柿の里しか(志賀町)
- ⑥ 道の駅のと千里浜(羽咋市)
- ⑦ NOTOあなみず(穴水町)
- ⑧ サクラリゾート(甲斐市)
- ⑨ 道の駅さすげ(小菅村)
- ⑩ 甲州市勝沼ぶどうの丘(甲州市)
- ⑪ つる(都留市)
- ⑫ 道の駅 南きよさと(北杜市)
- ⑬ やまなみの湯(南アルプス市)
- ⑭ 道志川温泉紅椿の湯(道志村)
- ⑮ 斑尾高原キャンピングパーク(飯山市)
- ⑯ 小黒川(伊那市)
- ⑰ 小布施屋(小布施町)
- ⑱ 木曾ふるさと体験館(木曾町)
- ⑲ ハケ岳高原「原村」もみの木(原村)
- ⑳ こころ屋(諏訪市)
- ㉑ 鬼無里の湯 ホテル&コテージ(長野市)



最新情報は
公式サイトをチェック！
<http://rv-park.jp/park>

※ このRVパークMAPの情報は2018年12月現在です。

北海道斜里郡 RVパーク知床清里町ウエネウサルみどり

2018年4月にオープンした道東初のRVパーク。知床連山の起点となる斜里岳の麓・清里町にあり、世界自然遺産知床の観光拠点としても便利だ。神秘的なブルーの「神の子池」、サクラマスの遡上が見られる「さくらの

滝」、「裏摩周展望台」、「宇宙展望台」などの名所へもそれぞれ10分程度でアクセス可能。静かな森の中の別荘地にあり、自然環境や星空、野生動植物を静かにゆっくりと楽しむことをコンセプトとしている。

- 利用料金:1泊2500円/1台(トレーラー含む)
- 電気使用料:500円
- ゴミ処理:可(有料70円/30L、100円/45L)
- 利用可能期間:通年
- 利用可能台数:8台
- チェックイン:15:00~20:00、チェックアウト:翌日11:00
- 予約:必要(当日までに必ず予約)
- ペット連れ:可
- 発電機の使用:不可
- 設備:100V電源、トイレ(24時間利用可能)、水道(給水は要相談)、ミニドッグラン、足湯(天然温泉・源泉100%)



Data

〒099-4525 北海道斜里郡清里町緑町71-11
☎ 080-9017-4107
<http://26y1o.crayonsite.info>

アクセス/道道1115号線を清里町市街から中標津方面へ約15km



緑の湯

〒099-4525 北海道斜里郡清里町緑町26 ☎ 0152-27-5511

- 利用料金:大人390円/子供200円
- 営業時間:10:00~21:00(1~2月10:30~21:30)
- 定休日:年末年始

RVパークからの距離



徳島県吉野川市 RVパーク美郷の湯 by NEXTLIFE

キャンピングカーユーザーが協力して作り上げたRVパーク。梅が有名な徳島県吉野川市美郷地区は、全国で始めて「梅酒特区」の認定を受けており、5軒の酒蔵が様々な品種の梅酒を作っている。また「美郷のホタル及

び、その生息地」として国の天然記念物に指定されており、ホタルが飛ぶ流域面積、数、期間とも全国でも有数の地域。近くでジャパンブルーの藍染体験もできるなど、施設・遊びの充実度共に申し分ない。

- 利用料金:1泊2500円/1台(トレーラー含む)
- 電気使用料:500円
- ゴミ処理:可(有料300円)
- 利用可能期間:通年
- 利用可能台数:6台(全幅2.5m以上は入場不可)
- チェックイン:13:00~19:30、チェックアウト:翌日12:00
- 予約:不要(事前に連絡すれば予約も可能)
- ペット連れ:可
- 発電機の使用:可(時間指定なし)
- 設備:100V電源、トイレ(24時間利用可能)、水道、レストラン



Data

〒779-3505 徳島県吉野川市美郷奥丸75-1
☎ 0883-43-2626
<http://misatonoyu.com>

アクセス/脇町ICより国道193号線南下一国道192号線を東へ10km再び193号線旧美郷村に入り県道45号線4km車で約30分(大きい車はこちらの方をお勧めします)



美郷の湯 ※RVパークに併設

〒779-3505 徳島県吉野川市美郷奥丸75-1 ☎ 0883-43-2626

- 利用料金:大人500円/子供(小学生まで)250円
- 営業時間:10:00~21:00(受付終了20:30)
- 定休日:水曜日

RVパークからの距離



鹿児島県肝属郡 RVパークコスモピア内之浦

RVパークのある肝付町内之浦には、日本初の人工衛星「おおすみ」や固体燃料ロケット「イプシロン」を打ち上げた、JAXA内之浦宇宙空間観測所がある。観測所は打ち上げ時以外1年中見学可能で、直径34mの巨大なバ

ラボラアンテナや、ロケット発射場、観測用ロケット実物大模型などを間近に見ることができる。目の前の国道448号線は、ウミガメが産卵に訪れる「岸良海岸」などを望む絶景のドライブコースだ。

- 利用料金:1泊1500円/1台(トレーラー含む)
- 電気使用料:施設利用料に含む
- ゴミ処理:可(無料)
- 利用可能期間:通年
- 利用可能台数:4台
- チェックイン:6:00~22:00、チェックアウト:翌日6:00~22:00
- 予約:不要(事前に連絡すれば予約も可能)
- ペット連れ:可
- 発電機の使用:不可
- 設備:100V電源、トイレ(国民宿舎コスモピア内之浦内)、レストラン、売店



Data

〒893-1402 鹿児島県肝属郡肝付町南方2660
☎ 0994-67-4110
<http://www.cosmo-pia.jp>

アクセス/志布志市港より車で45分・垂水港より車で70分・大隅縦貫道「笠之原IC」より車で40分



国民宿舎コスモピア内之浦 ※RVパークに併設

〒893-1402 鹿児島県肝属郡肝付町南方2660 ☎ 0994-67-4110

- 利用料金:大人310円/子供150円
- 営業時間:6:00~22:00
- 定休日:不定休

RVパークからの距離



JRVA TOPICS

JAPAN RECREATIONAL VEHICLE ASSOCIATION TOPICS

Jrva Topics No. 01 Official Mascot Character

キャンピングカーの魅力や楽しさを伝えるJRVA公式マスコットキャラクター「ジャルバ君」

世の中は、ゆるキャラブーム。日本全国の各自治体や様々なジャンルの業界団体が、独自のマスコットキャラクターを登場させ、イベント、各種キャンペーン、地域おこし、名産品の紹介など、地域全般の情報PRや、企業・団体の活動の啓蒙・PRを行っています。そんな中、日本RV協会においても、「キャンピングカーの魅力や楽しさを伝えること」を使命に掲げた公式マスコットキャラクターが誕生しました。その名もズバリ、「ジャルバ君」!

バンクの前方にJRVAロゴが描かれたキャブコンモチーフのキュートなフォルムを、さわやかなブルーと清潔感のあるホワイトのポップなツートンカラーで彩った「ジャルバ君」は、子供にも大人にも愛され

る親しみやすいデザインが最大のポイントです。笑顔がキュートなその見た目の通り、明るく朗らかで、誰とでも仲良くなれる性格を持ち、得意技は「キャンピングカーの魅力伝えること」!

生まれたところはロンドン郊外、誕生日は1月1日(元旦)で、年齢は不明。「ジャルバ君」という名前が示す通り、性別は男の子となっています。「出没するところ」に、「人気の観光地、各種イベントにおいて、たびたび目撃される」とあるように、これから全国各地で開催されるキャンピングカーイベントを大いに盛り上げてくれること間違いなしです。2019年は、日本RV協会のマスコットキャラクター「ジャルバ君」の活躍に注目してください。



Jrva Topics No. 02 Limited Original Goods

ジャルバ君オリジナルグッズをイベント会場限定で発売!

「ジャルバ君」の誕生から、さらなるキャンピングカーの魅力伝えるためにジャルバ君オリジナルグッズが作成されました。正面にかわいいジャルバ君のイラストがプリントされたマグカップ(500円)は、家でもキャンプでも使い勝手抜群の340mlサイズ。そのほかにも、買い物や小物入れとしても

重宝する360×370×110mmサイズのトートバッグ(300円)、ジャルバ君シール(ミニ) + ステッカー(100円)も用意され、イベント会場限定で発売されます。引き続き、ジャルバ君のぬいぐるみも発売予定ですので、ぬいぐるみをバンクベッドの窓や室内に飾るのもいいかも!



Jrva Topics No. 03 Improve Manners Campaign

新マナーステッカーと新マナーハンドブックが完成しました!

日本RV協会では、公式マスコットキャラクター「ジャルバ君」のイラストをメインにあしらった、クラシックなデザインとポップなデザインの新マナーステッカー2種類と、日本RV協会が推進する「公共駐車場のマナー10ヵ条」を掲載した新マナーハンドブックを作成しました。

ステッカーとハンドブックは、JRVA会員が販売した車両にお付けしております。また、今回の広報誌掲載に際して、ご希望の方にはJRVA事務局へ120円分の返信用切手をお送り頂ければ、マナーステッカー2種類とマナーハンドブックをお送りする予定です。詳細はお問い合わせください。



お問い合わせは
メールで [info@jrva.com] までお願いします。